



ITA_利用手順マニュアル

基本コンソール

—第1.9版—

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複製することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- ・ LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
- ・ Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。
- ・ AnsibleTowerは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TM マークは本書に明記していません。

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

目次

はじめに	4
1 ITA 基本コンソールの概要	5
2 ITA 基本コンソールのメニュー、画面構成	6
2.1 ITA 基本コンソールメニュー 一覧	6
3 ITA 基本コンソール利用手順	7
3.1 作業フロー	7
4 機能・操作方法説明	8
4.1 ITA 基本コンソール	8
4.1.1 機器一覧	8
4.1.2 紐付対象メニュー	10
4.1.3 投入オペレーション一覧	12
4.1.4 Movement 一覧	13
4.1.5 ER 図表示	14
4.1.6 ER 図メニュー管理	16
4.1.7 ER 図項目管理	18
5 運用上の注意事項	20
5.1 オペレーション作業履歴の定期削除	20

はじめに

本書は、ITA の基本コンソールの機能および操作方法について説明します。

1 ITA 基本コンソールの概要

本章では基本コンソールメニューの機能、操作方法について説明します。
基本コンソールでは、ITA を利用して作業を行う上で共通に必要な以下の機能を提供します。

2 ITA 基本コンソールのメニュー、画面構成

本章では、ITA 基本コンソールのメニュー、画面構成について説明します

2.1 ITA 基本コンソールメニュー 一覧

ITA 共通/基本コンソールのメニューを以下に示します。

表 2.1-1 ITA 画面一覧

No	メニューグループ	メニュー・画面	説明
1	ITA 基本 コンソール	機器一覧	管理対象システム一覧をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
2		投入オペレーション一覧	投入オペレーション一覧をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
3		Movement 一覧	登録した Movement の一覧を閲覧できます。
4		ER 図表示	各メニューと参照データの紐づけを ER 図で表示します。

3 ITA 基本コンソール利用手順

3.1 作業フロー

ITA 基本コンソールにおける標準的な作業フローは以下のとおりです。
各作業の詳細は次項に記載しています。

Movement の登録方法については、各 Driver の利用手順マニュアルを参照してください。

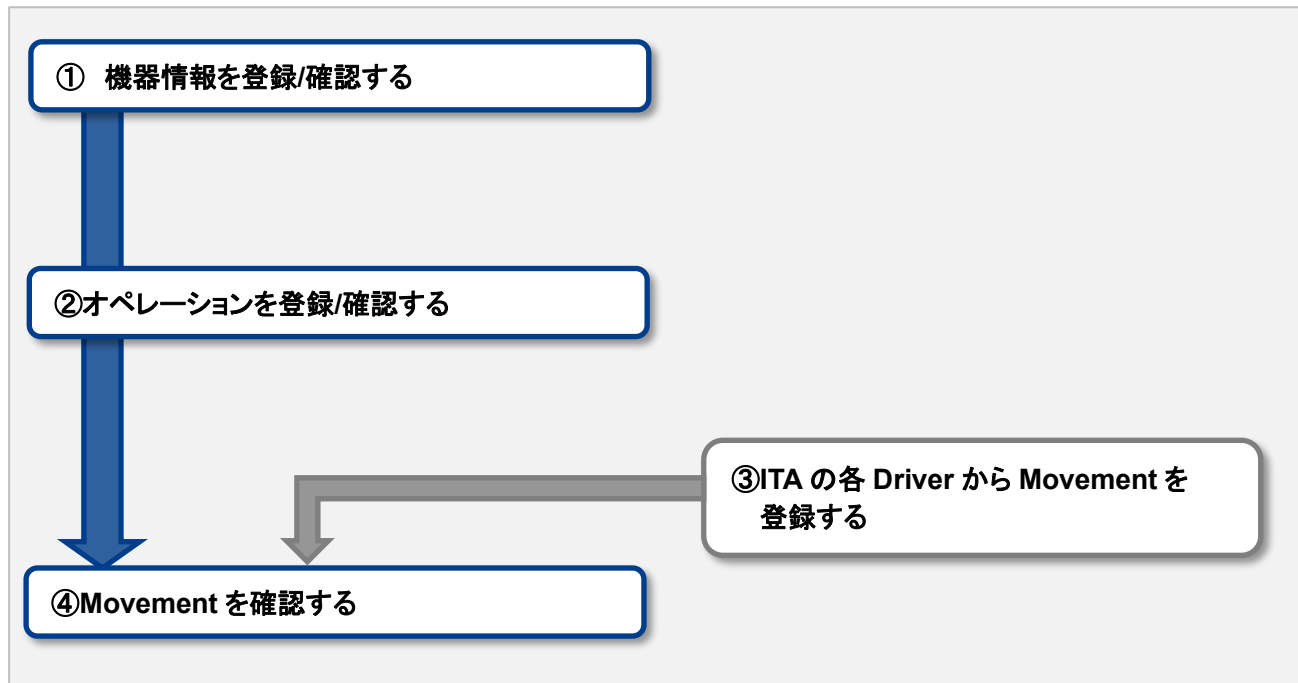


図 3.1-1 作業フロー

4 機能・操作方法説明

4.1 ITA 基本コンソール

4.1.1 機器一覧

- (1) [機器一覧] 画面では、作業対象ホストの情報を管理します。
各オーケストレータの実行前にサーバタイプに応じた必要情報を登録してください。
また、再実行の際にサーバ情報が変更になっている場合は、事前に変更処理をしてください。



図 4-1 サブメニュー画面(機器一覧)

- (2) 「登録」-「登録開始」ボタンより、機器情報の登録を行います。

HW機器種別	ホスト名	IPアドレス	EtherWakeOnLan		ログインユーザID	管理	ログインパスワード	ssh認証情報		パスワード
			MACアドレス	ネットワークデバイス名				ssh秘密鍵ファイル	パスフレーズ	
	exastro-it-automa	127.0.0.1			root			ファイルを選択 選択されていません		

登録アップロード
アップロード状態:

図 4-2 登録画面(機器一覧 - 共通項目)

- (3) 登録画面の共通項目一覧は以下のとおりです。
 作業対象の「ホスト名」、「IP アドレス」は、必ず入力してください。
 ※「ログインパスワード」は、「管理」を●とした場合、登録は必須です。

表 4.1-1 登録画面項目一覧(機器一覧 - 共通項目)

項目	説明	入力必須	入力形式	制約事項
管理システム項番	登録情報を識別する一意のIDが自動入力されます	-	自動入力	管理システム項番を10,000,000以上にするとホストグループ機能が正常に動作しません。ホストグループ機能を使用する場合は、管理システム項番を10,000,000未満になるようにしてください。
HW 機器種別	HW 機器の種別を選択します	-	手動入力	最大長 128 バイト
ホスト名	ホスト名を入力します	○	手動入力	-
IP アドレス	IP アドレス(xxx.xxx.xxx.xxx 形式)を入力します	○	手動入力	最大長 15 バイト
EtherWake OnLan	MAC アドレス	-	手動入力	最大長 17 バイト
	ネットワークデバイス名	-	手動入力	最大長 256 バイト
ログインユーザID	ログインするユーザIDを入力します	-	手動入力	最大長 30 バイト
ログインパスワード	管理	-	リスト選択	-
	ログインパスワード	※	手動入力	最大長 128 バイト
ssh 鍵認証情報	ssh 秘密鍵ファイル	-	手動入力	-
	パスフレーズ	-	手動入力	最大長 256 バイト
備考	自由記述欄です	-	手動入力	-

- (4) 共通項目の他に、各 Driver/オーケストレータを利用する場合に情報を登録します。
 各 Driver の詳細はそれぞれの利用手順を参照してください。

① Ansible 利用情報

図 4-3 登録画面(機器一覧 - Ansible)

- Ansible 利用情報は Ansible driver に必要なパラメータです。
- 詳細については、「利用手順マニュアル_Ansible-driver」を参照してください。

4.1.2 紐付対象メニュー

- (1) 紐付対象メニューでは、代入値自動登録設定で連携する CMDB のメニューを登録／更新／廃止を行います。

BackYard で自動的に作成されますが、手動で変更したい場合は本メニューをメンテナンスしてください。インストール時『紐付対象メニュー』は非表示の設定になっております。管理コンソールのロール・メニュー紐付管理メニューにて復活処理を行うことによって表示されるようになります。



図 4-4 サブメニュー画面(紐付対象メニュー)

- (2) 「登録」・「登録開始」ボタンより、メニューの紐付けを行います。

項番	メニューグループ・メニュー*	備考	最終更新日時	最終更新者
自動入力	▼		自動入力	自動入力

図 4-5 登録画面(紐付対象メニュー)

(3) 登録画面の項目一覧は以下のとおりです。

表 4.1-2 登録画面項目一覧(紐付対象メニュー)

項目	説明	入力 必須	入力形式	制約事項
メニューグループ: メニュー※2	CMDB のメニューが表示されます。 代入値自動登録設定で連携する CMDB のメニューを選択します。	○	リスト選択	-
備考	自由記述欄です。	-	手動入力	最大長 4000 バイト

※2 CMDB のメニューグループとメニューの登録が必要です。

メニューグループとメニューの登録についての説明は、「利用手順マニュアル_管理コンソール」を参照してください。

4.1.3 投入オペレーション一覧

- (1) [投入オペレーション一覧]画面では、オーケストレータで実行する、作業対象ホストに対するオペレーションを管理します。

例)「サービス追加工事作業」など



図 4-6 サブメニュー画面(投入オペレーション一覧)

- (2) 「登録」-「登録開始」ボタンより、オペレーション情報の登録を行います。

No.	オペレーションID	オペレーション名*	実施予定日時*	備考	最終更新日時	最終更新者
自動入力	自動入力				自動入力	自動入力

図 4-7 登録画面(投入オペレーション一覧)

- (3) 登録画面の項目一覧は以下のとおりです。

表 4.1-3 登録画面項目一覧(投入オペレーション一覧)

項目	説明	入力必須	入力形式	制約事項
オペレーション名	任意のオペレーション名を登録します	○	手動入力	最大長 256 バイト
実施予定日時	オペレーションの実施予定日時を入力します ※ここで指定した日付で実際に処理が実行されるわけではありません。 ※実施予定日時が設定されているオペレーションに紐づく作業履歴は、指定した保存期間を過ぎると自動で削除されます。	○	手動入力	-
オペレーション ID	オペレーションを識別する一意の ID が自動入力されます	-	自動入力	-
最終実行日時	Symphony 実行や各ドライバの作業実行で、このオペレーションを選択し実行した実績の日時が表示されます。	-	表示項目	未実行のオペレーションの場合は空白が表示されます。
備考	自由記述欄です	-	手動入力	-

4.1.4 Movement 一覧

- (1) [Movement 一覧]画面では、オーケストレータを利用する際の Movement とオーケストレータの関連付けを確認できます(参照のみ)。
Movement の実際の登録は、各 Driver の利用手順マニュアルを参照し、各オーケストレータの ITA 用ドライバーのコンソールメニューから行ってください。

The screenshot shows the 'Movement 一覧' (Movement List) page in the Exastro IT Automation console. The page title is '基本コンソール' (Basic Console). The user is logged in as 'ようこそ[システム管理者]さん' (Welcome [System Administrator]). The sidebar menu includes 'Movement 一覧' (Movement List), which is highlighted with a red box. The main content area displays a table with the following columns: '廃止' (Cancelled), 'Movement ID', 'Movement名' (Movement Name), 'オーケストレータ' (Orchestrator), '遅延タイマー' (Delay Timer), '最終更新日時' (Last Updated Date), and '最終更新者' (Last Updated By). Each column has a search dropdown menu. Below the table are buttons for 'フィルタ' (Filter) and 'フィルタクリア' (Clear Filter), and a checkbox for 'オートフィルタ' (Auto Filter). The table currently displays the message 'レコードはありません。' (No records found).

図 4-8 サブメニュー画面 (Movement 一覧)

4.1.5 ER 図表示

(1) [ER 図表示]画面では、各メニューと参照データの紐づけを ER 図で表示します。
ログインユーザが閲覧可能権限を持つメニューのみ表示されます。

- ① プリント
表示されている ER 図を印刷します。
- ② メニューグループ選択
表示するメニューグループを選択します。
※メニュー表示時では管理コンソールは選択されていません。
- ③ リレーション
ER 図上に表示されているリレーションの表示/非表示を選択します。
- ④ 全体表示
ER 図の全体が表示されます。
- ⑤ 表示リセット
ER 図の拡大・縮小状態がリセットされ、左上にそろえられます。
- ⑥ メニューの項目一覧
各メニューの表示フィルタにある項目が表示されます。
※備考・最終更新者・最終更新日は表示されません。
- ⑦ リレーション
リレーションのある項目間で一方向の矢印が引かれます。



※以下のリレーションは数が多く、煩雑になるため紐付けをしておりません。

- ・オペレーション一覧のオペレーション ID
- ・オペレーション一覧のオペレーション名
- ・機器一覧のホスト名

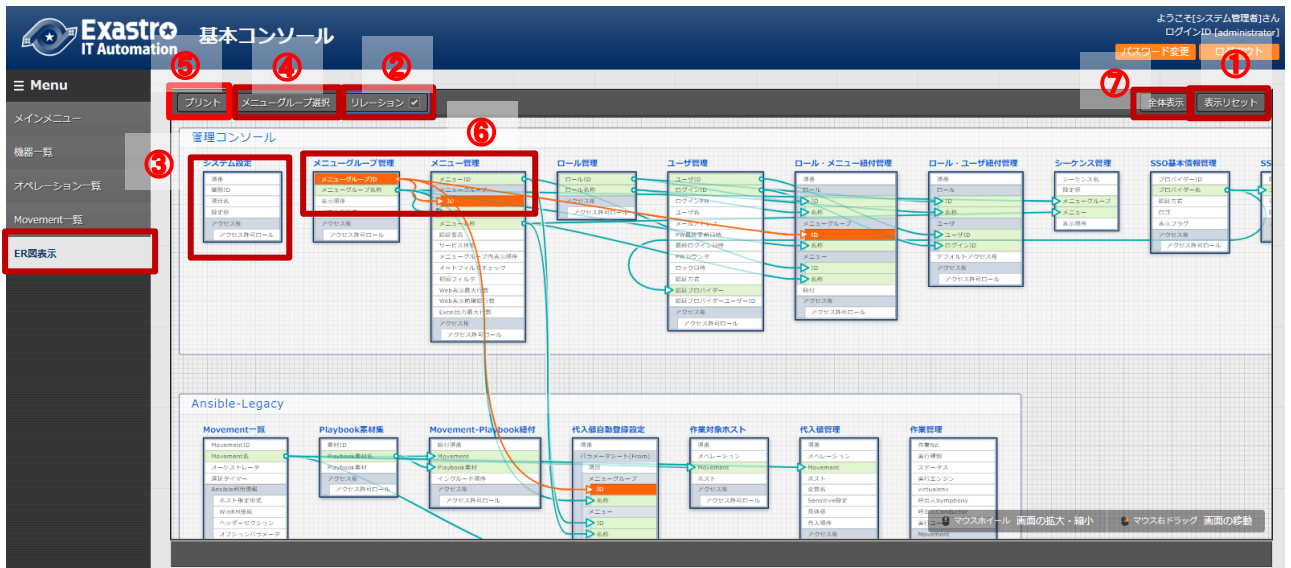


図 4-9 ER 図表示画面

(2) 操作説明

操作	動作
ER 図の拡大・縮小	マウスのホイールを上下に動かします。
移動	マウスの右ボタンでドラッグします。
リレーションの強調/解除	リレーションのある項目をクリックします。
リレーションの強調(一時)	リレーションのある項目にカーソルを合わせます。

(3) ER 図の生成されるタイミング

ER 図の生成されるタイミングは以下の通りです。

- A. ITA をインストール
- B. メニュー作成機能にてメニューを作成
- C. [メニューインポート]メニューで kym ファイルのインポート

4.1.6 ER 図メニュー管理

- (1) [ER 図メニュー管理]画面では、ER 図表示に使用するメニューとテーブル/ビューの関連付けを管理します。
 本メニューでデータを挿入後、ER 図項目管理で項目データを挿入することによって ER 図表示メニューでテーブル情報が表示されるようになりますが、ログインユーザに表示権限のないメニューは表示されません。
 BackYard で自動的に作成されますが、手動で変更したい場合は本メニューをメンテナンスしてください。

ER 図メニュー管理のデータは履歴がありません。再生成するタイミングでデータはすべて消えますが、最終更新者がユーザである場合は削除されません。

インストール時『ER 図メニュー管理』メニューは非表示の設定になっております。管理コンソールのロール・メニュー紐付管理メニューにて復活処理を行うことによって表示されるようになります。



図 4-10 サブメニュー画面 (ER 図メニュー管理)

- (2) 「登録」-「登録開始」ボタンより、ER 図に表示するメニュー情報の登録を行います。



図 4-11 ER 図メニュー管理

(3) 登録画面の項目一覧は以下のとおりです。

表 4.1-4 登録画面項目一覧(ER 図メニュー管理)

項目	説明	入力 必須	入力形式	制約事項
メニューグループ: メニュー	メニューが表示されます。 ER 図で表示させたいメニューを選択します。	○	リスト選択	-
テーブル名	メニューグループ:メニューに紐付くテーブル名を登録します。	○	手動入力	最大長 256 バイト
ビュー名	メニューグループ:メニューに紐付くビュー名を登録します。	-	手動入力	最大長 256 バイト
備考	自由記述欄です	-	手動入力	-

4.1.7 ER 図項目管理

(1) [ER 図項目管理]画面では、ER 図に関する設定を行います。表示するメニュー内の項目を設定します。

BackYard で自動的に作成されますが、手動で変更したい場合は本メニューをメンテナンスしてください。

ER 図項目管理のデータは履歴がありません。再生成するタイミングでデータはすべて消えますが、最終更新者がユーザである場合は削除されません。

インストール時『ER 図項目管理』メニューは非表示の設定になっております。管理コンソールのロールメニュー紐付管理メニューにて復活処理を行うことによって表示されるようになります。



図 4-12 サブメニュー画面(ER 図項目管理)

(2) 「登録」-「登録開始」ボタンより、ER 図に表示するメニュー情報の登録を行います。



図 4-13 ER 図項目管理

(3) 登録画面の項目一覧は以下のとおりです。

表 4.1-5 登録画面項目一覧(ER 図項目管理)

項目	説明	入力 必須	入力形式	制約事項
メニューグループ: メニュー	ER 図メニュー管理で設定したメニューが表示されます。 ER 図で表示させたいメニューを選択します。	○	リスト選択	-
表示順序	ER 図表示メニューで表示される際の順序を入力します。	-	手動入力	数値
項目	任意の項目名を入力します。 メニュー内で一意に指定してください。	○	手動入力	最大長 256 バイト
項目タイプ	グループかアイテムを選択します。	○	リスト選択	-
親項目	項目の所属するグループを指定します。 グループに所属しない場合は入力不要です。	-	手動入力	最大長 256 バイト
物理名	項目の物理名を入力します。 関連項目を指定する際に使用します。	-	手動入力	最大長 256 バイト
論理名	項目の論理名を入力します。 ER 図上で表示される名称です。	○	手動入力	最大長 256 バイト
関連テーブル名	リレーションをつなげる項目が所属するテーブル名を入力 します。	-	手動入力	最大長 256 バイト
関連項目	リレーションをつなげる項目の物理名を入力します。 登録のない物理名を設定した場合、リレーションは紐付け されません。	-	手動入力	最大長 256 バイト
備考	自由記述欄です	-	手動入力	-

5 運用上の注意事項

5.1 オペレーション作業履歴の定期削除

「投入オペレーション一覧」メニューに登録されているオペレーションの実施予定日時に紐づくデータを削除する機能を用意しております。

詳細は、「利用手順マニュアル_管理コンソール」を参照してください。